



会報
第64号

シルバーいなぎ

平成 28 年5月発行
公益社団法人
稲城市シルバー人材センター

所在地：稲城市東長沼2112-1 稲城市地域振興プラザ3階 ☎042-377-2212

28年 定時総会のご案内

i (アイ)プラザにて開催します

今年の定時総会は6月16日(木)午後1時から京王相模原線若葉台駅前のiプラザで開催されます。

現在、稲城中央文化センターホールが大規模改修工事で使用できないためです。

総会に先立ち、安全研修(小泉安全管理委員長)と会員の表彰(財団表彰・地区長表彰・十年表彰)があります。

● 総会の議案について

① 決議事項

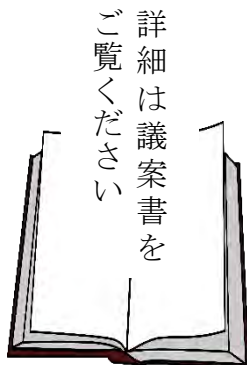
平成27年度収支決算

② 報告事項

平成27年度事業報告

平成28年度事業計画

平成28年度収支予算



● 当日の出欠について

議案書、出欠ハガキ等は、各地区の班長さんを通じて全会員にお届けします。

議案書は当日お持ちください。

出欠ハガキは、必ず返信してください。(6月13日まで)

欠席の場合は、ハガキ裏面の「委任状」に記入してください。

または「議決権行使書」(事務局にあります)提出もできます。

● iプラザへの交通についての留意事項

電車やバスなどの公共交通機関を利用し、違法駐車や放置自転車などで、近隣に迷惑をかけないように、十分にご注意ください。

会員説明会のご案内

シルバー派遣事業

「シルバー派遣」事業の概要についてはシルバーいなぎ63号に掲載しましたが、今度は会員向けの説明会を開催いたします。同じ内容で2回行います。

※どちらか都合の良い日にご参加ください

どちらも2時間程度の予定です

★ 第1回目説明会

・6月22日(水) 14:00~

・シルバー人材センター3階会議室

★ 第2回目説明会

・6月27日(月) 10:00~

・稲城市地域振興プラザ4階会議室

中期基本計画の策定

平成28(2016)年度~平成32(2020)年度までの5年間の基本計画が平成27年度第12回理事会で承認されました。



この計画は当センターの様々な課題を解決し、健全な運営を進めていくための指針を示したものです。

これを基に毎年度の状況に則した事業計画を策定し、実施してまいります。

全会員に配付いたしますので、ご確認ください。会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

安全対策基本計画の配付

平成28年4月1日改定の安全対策基本計画を全会員に配付します。

安全就業に活用してください。



希望職種交代要員募集のご案内

★申込み期限は交代月の2か月前の月末です。
 役員面接と就業前研修があります。
 (就業時間は全て交替制 詳細は事務局まで)

交代月	グループ	人員	就業体制
28年8月	中央文化センター	男1名	16:30~22:30
28年9月	総合体育館	男1名	8:30~22:00 4交代
28年10月	ふれんど平尾	女2名	8:30~12:30
28年12月	第四文化センター	男1名	16:30~22:30
	地域振興プラザ	男1名	16:45~22:15
29年2月	地域振興プラザ	女1名	8:30~16:45 (土・日・祝)
	総合体育館	男1名	8:30~22:00 4交代
29年3月	地域振興プラザ	女1名	8:30~16:45 (土・日・祝)
29年4月	第二文化センター	男1名	16:30~22:30



平成27年度事業実績

平成27年度事業報告書より

- 事業実績 (H27.4.1~H28.3.31)
 - ・受託件数 2,886件
 - ・契約金額 302,033千円(対前年1.6%増)
- 平成27年度会員数推移(H27.4.1~H28.3.31)

	年度初	入会	退会	3/31 会員数	
男	396	65	56	405	(+9)
女	185	33	35	183	(-2)
計	581	98	91	588	(+7)

平均年齢:全体 73.4歳 (3/31 現在)
 男 73.9歳 女 72.2歳

- 年間就業率 99.5%
- 事故発生件数 (H27.4.1~H28.3.31)

事故の種類	27年度	26年度	増減
傷害事故	4件	6件	-2件
賠償事故	3件	1件	+2件
車両事故	8件	5件	+3件
合計	15件	12件	+5件

平成28年度事業計画

平成28年度事業計画書より

- ◆ 受託件数 : 2,920件
- ◆ 契約金額 : 2億9千万円
- ◆ 年間就業率 : 97%
- ◆ 新規事業 : シルバー派遣事業

就業希望者を募集している仕事

- ・ 屋内外清掃 ・ 環境美化 ・ 襖

◆平成28年度地区長・班長及び地区担当理事

平成28年5月17日現在

地区	地区長	第1班長	第2班長	第3班長	第4班長	第5班長	第6班長	担当理事
矢野口第1	市川 鉄一	大場 熙	(未定)	-	-	-	-	鹿島 正二
矢野口第2	亀森 重夫	反町 信行	星 公	織田 行雄	鳥海 柁子	-	-	半杭 弘子
矢野口第3	池 隆昭	岩本 敬士	鈴木 恵子	荒井 慶一郎	潮 昭太	-	-	半杭 弘子
押立	横田 比佐夫	高階 好	宮部 一恵	石川 浩弐	高橋 三吉	-	-	鹿島 正二
東長沼第1	佐々木 正男	山本 修	金井 征男	荒田 みわ子	安達 忠義	遠藤 ヒサ子	小甲 滋	小泉 晴雄
東長沼第2	田中 尚志	近藤 敏子	関口 裕	橋本 和男	古市 悦郎	今村 輝子	-	小泉 晴雄
大丸第1	松本 洋	吉田 茂	片桐 正子	中川 要	金野 剛毅	-	-	飯田 規美子
大丸第2	児高 康則	亀岡 義夫	土屋 正美	城石 秀雄	水口 庄一	中丸 勝利	-	飯田 規美子
百村	笠井 良明	釜我 富美子	中村 博	浜田 英規	-	-	-	但木 治男
向陽台	前沢 正夫	細田 時代	籠尾 良子	斎藤 洋一	鈴木 亨	茅原 里江	須釜 信篤	但木 治男
坂浜	深野 準一	高橋 清	小川 江一	-	-	-	-	西 功
平尾第1	高橋 修之	幸田 ちゆ子	葛原 等	小高 安子	福井 茂	-	-	西 功
平尾第2	小幡 英雄	小島 真二	松原 博	瀧下 修司	安田 哲二	有田 武美	白岩 和紀	西 功
長峰	岡本 明久	澤山 迪昭	岩井 幸子	高橋 幸子	-	-	-	荒川 守
若葉台	手嶋 研壹	中村 恵子	木村 雄三	-	-	-	-	荒川 守



地区会活動事例紹介

「地区長を選出する自主ルールづくり」(大丸第1、向陽台)

大丸第1地区と向陽台地区では、3月に開催された地区会において地区長選出の自主ルールを決定されました。詳細は紙面の制約でご紹介できませんが、ルールの概要と策定に携わった地区長が重視した事をご紹介します。

(両地区会の概要)

大丸第1： 4班体制 会員数約 40名
地区長改選時期 28年3月
向陽台： 6班体制 会員数約 95名
地区長改選時期 29年3月

大丸第1地区会

【3月の地区会で決定したこと】

新ルールを策定し、このルールに基づき28年度の地区長(任期2年)を選出した。

【大丸第1地区地区長選出新ルールの概要】

- ① 新設された地区運営全般にかかる「大丸第一地区会内部規約」の中に規定された。
- ② 各班持ち回りを原則とし、班内で候補者を決め地区会で正式に選出する。
- ③ 選出が困難な場合は、副地区長を責任者とする直近2ヶ年の班長による「新旧班長会議」で候補者を決定する。

【選出ルール以外の重要なこと】

会計業務、地区会運営の実務を班長が分担して担当する運営体系を作った。

【地区会内の合意を得るための活動】

- ① 26年の地区長就任時からルールを策定すると宣言した。
- ② 地区会においてセンター規則の浸透、会員の役割、懇親会、趣味の会、名簿の配付等会員の交流親睦を深める活動を通して地区長を選ぶための環境整備を行った。
- ③ 必要に応じ不定期で毎年10回以上の班長会を開き班長の意見を聞いた。
- ④ 1年以上前から地区会で新ルールの提案と説明を繰り返し会員の理解を得た。

【策定に携わった地区長が重視したこと】

前大丸第1地区長 野中清隆氏
(以下はインタビューの抜粋です)

- ・地区運営の改善活動の一環として、全会員が共有できる地区のルールを作る。
- ・次世代に引き継げる地区会運営の基盤を確立する。
- ・地区長、班長、会員の役割分担と協働。
- ・班長と共に会員の声をシッカリ聴く。



向陽台地区会

【3月の地区会で決定したこと】

新ルールの基本的了解を得る。次回地区会で詳細を決定し次期地区長から適用する。

【向陽台地区地区長選出新ルールの概要】

- ① 直近2ヶ年の班長12名で構成する委員会による候補者推薦方式。
- ② 各班長は班から1名以上を推薦し、その中から委員会の推薦候補を選出する。
- ③ 引き受け手が見つからない場合は、委員の中から候補者を選出する。
- ④ 原則として既経験者は推薦しない。

【選出ルール以外の重要なこと】

会計業務、地区会の会場予約、お茶菓子手配、会場設営、受付等の業務を担当する班長を明確にして役割分担することとした。

【地区会内の合意を得るための活動】

- ① 他地区の地区長選出ルールを調査し、複数ルールについて詳細な比較検討資料を作成して丁寧に説明した。
- ② 班長と1年以上前から協議。

【策定に携わった地区長が重視したこと】

現向陽台地区長 前沢正夫氏

- ・ルールを明文化し次期の地区長選出の混乱を防ぐ。
- ・地区長と班長の協力体制を確立し、地区長に推薦された会員が無理なく引き受けられるようにする。(インタビューより抜粋)



会員のひろば

【新企画】★シルバー健康情報 Vol.1

今号から、シルバー会員に役立つ健康情報や施設を紹介していきます。

今回は地域の「地域包括支援センター」を訪問し、お話を伺いました。

地域包括支援センターとは？

地域包括支援センターとは、高齢者とその家族が住み慣れた地域で、その人らしい生活を続けられるように、介護・福祉・保健・医療などさまざまな面で支援を行うための「総合相談機関」です。65歳以上の方と、高齢者を介護している家族の方が利用できます。

例えば家族の高齢者が、膝の具合が悪く外出がおっくうになったとか、最近物忘れがひどくなったなどの困りごとが出てきたら、すぐに相談してみましょう。ケアマネジャーや社会福祉士、保健師などの専門職の職員が連携して、介護保険サービスの認定や、その人にあった生活支援をサポートしてくれます。



◆ 地域包括支援センター
こうようだい

●さまざまな教室を企画開催しています

介護が必要な方は勿論ですが、私たちシルバー会員のように、元気で自立している人も地域包括支援センターを活用できます。

例えば転倒骨折予防を目的とした筋肉トレーニングや、認知症予防になるといわれる頭と体を同時に使う体操教室、季節の行事を取り入れたお茶会など、さまざまな活動を企画し、開催しています。「広報いなぎ」にお知らせが掲載されますので、気軽に参加してみましょう。

地域包括支援センターは、市内の地域ごと

にありますので、皆さん一度訪ねてみてはいかがでしょうか。

●市内4か所にある地域包括支援センター

- ①地域包括支援センター ひらお
(坂浜・平尾地区担当 ☎042-331-6088)
- ②地域包括支援センター やのくち
(押立・矢野口地区担当 ☎042-370-2202)
- ③地域包括支援センター エレガントもむら
(大丸・東長沼・百村地区担当 ☎042-379-5500)
- ④地域包括支援センター こうようだい
(向陽台・長峰・若葉台地区担当 ☎042-370-0040)

市内一斉防犯パトロール(予告)

恒例の市内一斉の防犯パトロールが、7月中旬に行われます。皆さんのご参加をお願いいたします。実施が近づくと「広報いなぎ」に掲載されますので、日程をご確認ください。

多摩川清掃の報告

4月3日9時から、恒例の多摩川清掃が行われました。小雨の残る曇り空のなか、シルバー会員20名が(北緑地14人、多摩緑地6人)参加し、汗を流しました。

交通事故傷害保険加入のお知らせ

自転車等の交通事故を補償する保険です。詳しくは同封のチラシをご覧ください。

熊本地震への義援金

事務局受付カウンターに募金箱を設置しました。



編 集 後 記

2月28日、広報委員3名で青パトに乗り、市内を巡回しました。私は初めての巡回体験です。青パトの役目は地域の防犯と抑止力。そう思って走ると、街も変わって見えるようで、平尾団地が広大なことに初めて気づき、若葉台の高層マンション群やお洒落な住宅街、学校とは思えない外観をした小学校など、すべてが興味深く、まさに稲城のイマを知るような高揚感もありました。

途中、緑色のジャンパーを着て仕事にいそしむシルバー会員を発見！一緒にパトロールをしてくださる方ご一報ください。(t)